標準ライブラリの不具合の対処方法

1　概要 3
2　不具合の発生したリビジョンがRev11以前の場合 4
3　不具合の発生したリビジョンがRev12.1以降の場合 6
3.1　Rev13で対処可能な不具合 8
3.1.1　デマンド履歴 8
3.1.2　信号一覧 9
3.1.3　稼働監視 10
3.2　Rev15.1で対処可能な不具合 11
3.2.1　カメラ登録 12
3.2.2　比較トレンドグラフ 13
3.2.3　エネルギー管理 14
3.2.4　トレンドグラフ 15
3.2.5　ガイダンス機能 16
3.2.6　イベントリアルタイム 17
3.2.7　イベント履歴 18
3.2.8　アラーム履歴 19
3.2.9　アラームサマリ 20
3.2.10　信号一覧 21
3.2.11　付箋機能 22
3.2.12　稼働監視 23
3.3　Rev16で対処可能な不具合 25
3.3.1　ビデオレコーダー 26
3.3.2　カメラ登録 27
3.3.3　デマンドレポート 28
3.3.4　日報 29
3.3.5　散布図グラフ 30
3.3.6　比較トレンドグラフ 31
3.3.7　トレンドグラフ 32
3.3.8　稼働監視 33
3.3.9　エネルギー管理 35

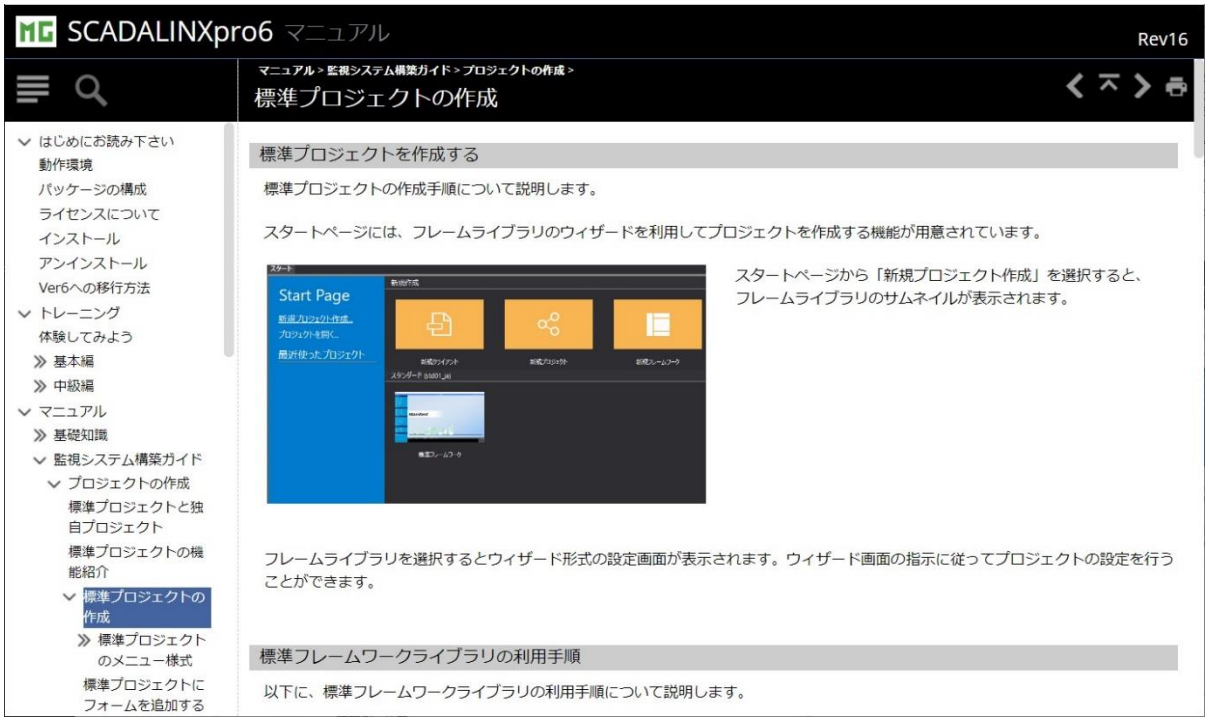
1　概要

本書は、製品パッケージの標準ライブラリ（画面ライブラリ及び標準フレームワークで提供される機能）で発生した不具合の対処方法を掲載しております。不具合の発生した製品パッケージのリビジョンがRev11以前の場合は、製品パッケージを最新のリビジョンに更新し、標準ライブラリを最新のものに入れ換えた後、お客様のカスタマイズした箇所を最新フレームワークに適用して下さい。不具合の発生したリビジョンがRev12.1以降の場合は、各リビジョンのリリース時点で公開された、標準ライブラリの不具合毎の対処方法のページをご参照下さい。

2　不具合の発生したリビジョンが Rev11 以前の場合

標準ライブラリとは、画面ライブラリと標準フレームワークで提供される機能のことです。Rev11 以前の標準ライブラリの不具合に対処するために、ご使用中の Rev11 以前の標準ライブラリを最新 Rev の標準ライブラリに入れ替える場合は、以下の手順に従い対処を行って下さい。

1. お客様でカスタマイズした箇所を抜き出して下さい。
2. 製品パッケージを最新リビジョンに更新して下さい。
   製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
3. ご使用いただいている標準ライブラリを、最新リビジョンのものに入れ換えて下さい。標準フレームワークを新規に作成する場合の手順については、SCADALINXpro6 ヘルプ（マニュアル ＞ 監視システム構築ガイド ＞ プロジェクトの作成 ＞ 標準プロジェクトの作成）を参照して下さい。
   （Rev16 の場合）



また、画面ライブラリを利用して画面を新規に作成する場合の手順については、SCADALINXpro6 ヘルプ（マニュアル ＞ 画面作成ガイド ＞ 画面ライブラリの利用 ＞ 画面ライブラリの利用方法）を参照して下さい。
（Rev16 の場合）

4. お客様のカスタマイズ箇所を最新フレームワークに適用して下さい。

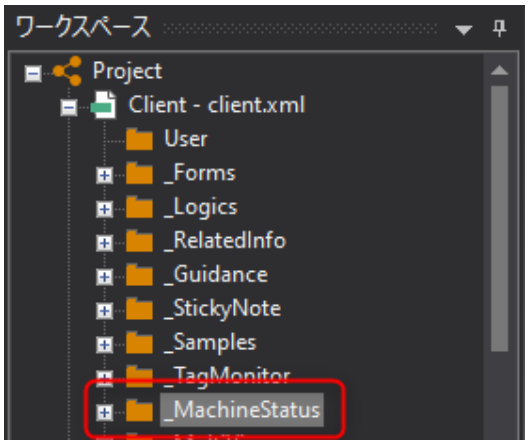
3　不具合の発生したリビジョンがRev12.1以降の場合

お使いの標準ライブラリとバージョンをご確認下さい。
また、下表の標準ライブラリについては、古い対処方法から順番に適用して下さい。ライブラリのバージョンは日付形式です。例えばLibraryVer 20210219の場合、2021年2月19日リリースとなります。
詳しくは、各対処方法のページをご参照下さい。

■標準ライブラリ		■不具合の発生したバージョン
信号一覧	（フォルダ名：_TagMonitor）	LibraryVer 20200205 LibraryVer 20210219
稼働監視	（フォルダ名：_MachineStatus）	LibraryVer 20200318 LibraryVer 20210219 LibraryVer 20230828
カメラ登録	（フォルダ名：_Video）	LibraryVer 20210219 LibraryVer 20230418
比較トレンドグラフ	（フォルダ名：_CompareTrend）	LibraryVer 20210219 LibraryVer 20221004
エネルギー管理	（フォルダ名：_Ems）	LibraryVer 20210219 LibraryVer 20230703
トレンドグラフ	（フォルダ名：_Trend）	LibraryVer 20210219 LibraryVer 20221004

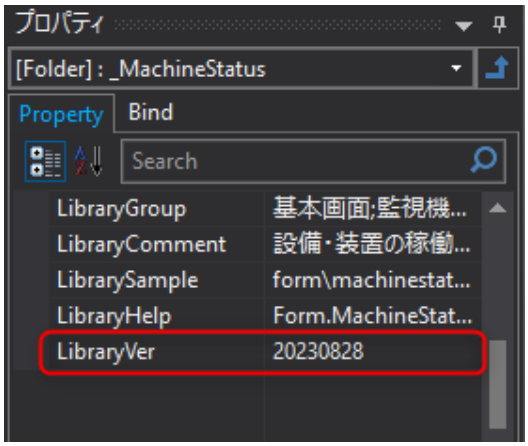
お使いの標準ライブラリの判別方法

標準ライブラリは、フォルダ名で判別出来ます。



標準ライブラリのバージョン

標準ライブラリのバージョンは、フォルダプロパティの「LibraryVer」の値で判別出来ます。



3.1　Rev13 で対処可能な不具合

Rev13 リリース時点で公開された標準ライブラリの不具合は下表のとおりとなります。

■標準ライブラリ	■不具合の発生したバージョン
デマンド履歴　（フォルダ名：_DemandHistory）	LibraryVer 20200205
信号一覧　（フォルダ名：_TagMonitor）	LibraryVer 20200205
稼働監視　（フォルダ名：_MachineStatus）	LibraryVer 20200318

3.1.1 デマンド履歴

不具合内容

Rev13 で対処可能な、デマンド履歴の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev12.1）のデマンド履歴を利用している場合
・　画面ライブラリのデマンド履歴（LibraryVer 20200205）を利用している場合

＜不具合内容＞
・　デマンド履歴の日報表示の際、グラフの時刻の表記を修正。
　例）0:00～0:30 の時刻を 0:30 のデータとして表記していたものを、0:00 のデータとして表示

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。
3. _DemandHistory フォルダを新しい画面ライブラリと挿し変えます。
   ※ SCADALINXpro Editor のライブラリタブから、「デマンド履歴」をワークスペースビューへドラッグ&ドロップで追加します。
4. 古い_DemandHistory フォルダは削除、もしくはリネームします。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.1.2 信号一覧

不具合内容

Rev13 で対処可能な、信号一覧の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev12.1）の信号一覧を利用している場合
・　画面ライブラリの信号一覧（LibraryVer 20200205）を利用している場合

＜不具合内容＞
・　数値を表示の際、1000 以上値をメーター表示すると正しく表示されない

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。
3. _TagMonitor フォルダを新しい画面ライブラリと挿し変えます。
   ※ SCADALINXpro Editor のライブラリタブから、「信号一覧」をワークスペースビューへドラッグ&ドロップで追加します。
4. 古い_TagMonitor フォルダは削除、もしくはリネームします。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。
5. 続けて、3.2.10 信号一覧の処置を実施して下さい。

3.1.3 稼働監視

不具合内容

Rev13 で対処可能な、稼働監視の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
- 標準フレームワーク（Rev12.1）の稼働監視を利用している場合
- 画面ライブラリの稼働監視（LibraryVer 20200318）を利用している場合

＜不具合内容＞
- 稼働状況モニタの小数点桁数の計算で誤差がでる
- 稼働分析とタイムライン、及び月報タイムラインで表示に差異がでる
- タイムラインと稼働分析、及び月報タイムラインのガントチャート表示で収集分類の選択順によって、収集分類に対するバーの色が正しく表示されない

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

- 最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
- patch_rev13-machinestatus-001.zip

■ファイルの入れ替え

パッチファイル内の以下のスクリプトファイルの入れ替え（上書き）を行って下さい。
配布ファイル中の「patch¥src¥server¥machinestatus¥script」
- statuscal.txt
- timecal.txt

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。
3. _MachineStatus フォルダを新しい画面ライブラリと挿し変えます。
   ※ SCADALINXpro Editor のライブラリタブから、「稼働監視」をワークスペースビューへドラッグ&ドロップで追加します。
4. 古い_MachineStatus フォルダは削除、もしくはリネームします。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。
5. 続けて、3.2.12 稼働監視の処置を実施して下さい。

3.2　Rev15.1 で対処可能な不具合

Rev15.1 リリース時点で公開された標準ライブラリの不具合は下表のとおりとなります。

■標準ライブラリ		■不具合の発生したバージョン
カメラ登録	（フォルダ名：_Video）	LibraryVer 20210219
比較トレンドグラフ	（フォルダ名：_CompareTrend）	LibraryVer 20210219
エネルギー管理	（フォルダ名：_Ems）	LibraryVer 20210219
トレンドグラフ	（フォルダ名：_Trend）	LibraryVer 20210219
ガイダンス機能	（フォルダ名：_Guidance）	LibraryVer 20210219
イベントリアルタイム	（フォルダ名：_EventRealtime）	LibraryVer 20210219
イベント履歴	（フォルダ名：_EventHistory）	LibraryVer 20210219
アラーム履歴	（フォルダ名：_AlarmHistory）	LibraryVer 20210219
アラームサマリ	（フォルダ名：_AlarmSummary）	LibraryVer 20210219
信号一覧	（フォルダ名：_TagMonitor）	LibraryVer 20210219
付箋機能	（フォルダ名：_StickyNote）	LibraryVer 20200205
稼働監視	（フォルダ名：_MachineStatus）	LibraryVer 20210219

3.2.1 カメラ登録

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、カメラ登録の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）のカメラ登録を利用している場合
・　画面ライブラリのカメラ登録（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「カメラ登録」にて以下の不具合を修正
・　ビデオレコーダー画面の録画状況部分で日付を選択するとスクリプトエラーが発生する場合がある問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev15-video-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥video.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_Video フォルダ内の「_VideoSelectDateTimeChart」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_VideoSelectDateTimeChart_bk」)
4. パッチファイル側の_Video フォルダ内の「_VideoSelectDateTimeChart」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Video」フォルダへ貼り付けします。(「_Video」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。
6. 続けて、3.3.2 カメラ登録の処置を実施して下さい。

3.2.2 比較トレンドグラフ

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、比較トレンドグラフの不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）の比較トレンドグラフを利用している場合
・　画面ライブラリの比較トレンドグラフ（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「比較トレンドグラフ」にて以下の不具合を修正
・　_ChangeSpanMode が True 時に初期表示が遅い問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev15-comparetrend-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥comparetrend.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_CompareTrend フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_Main_bk」）
4. パッチファイル側の_CompareTrend フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_CompareTrend」フォルダへ貼り付けします。（「_CompareTrend」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。
6. 続けて、3.3.6 比較トレンドグラフの処置を実施して下さい。

3.2.3 エネルギー管理

（Rev15.1）旧エネルギー管理（EMS）からバージョンアップする場合の注意点

旧エネルギー管理で使用していたデータをRev15.1にて公開した新エネルギー管理でもご利用頂けます。但し、以下の対象にあてはまる場合は、対処方法を参照下さい。

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
- 標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）のエネルギー管理（EMS）を利用している場合
- 画面ライブラリのエネルギー管理（EMS）（LibraryVer 20210219）を利用している場合
- ポイントグループ登録画面のポイントグループ詳細の形式で「エリア」を選択している場合
- 計測ポイント登録画面の形式で「バー」を選択されている場合

＜対処方法＞
- ポイントグループ登録画面のポイントグループ詳細の形式で「エリア」を選択されている場合は、現在使用中のシステムで形式を「バー」に切り替えてから新しいエネルギー管理（EMS）に設定ファイルを移設して下さい。
- 計測ポイント登録画面の形式で「バー」を選択されている場合は、現在使用中のシステムで形式を「バー」以外に切り替えてから新しいエネルギー管理（EMS）をご使用下さい。（新しいエネルギー管理（EMS）では、形式コンボボックスから「バー」を除外しています。「バー」が選択された状態では「ライン」に自動変換されます）
- 続けて、3.3.9 エネルギー管理の処置を実施して下さい。

3.2.4 トレンドグラフ

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、トレンドグラフの不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）のトレンドグラフを利用している場合
・　画面ライブラリのトレンドグラフ（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「トレンドグラフ」にて以下の不具合を修正
・　_ChangeSpanMode が True 時に初期表示が遅い問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev15-trend-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥trend.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_Trend フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_Main_bk」）
4. パッチファイル側の_Trend フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Trend」フォルダへ貼り付けします。（「_Trend」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。
6. 続けて、3.3.7 トレンドグラフの処置を実施して下さい。

3.2.5 ガイダンス機能

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、ガイダンス機能の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）のガイダンス機能（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「ガイダンス機能」にて以下の不具合を修正
・　ガイダンスを 10 個以上登録すると、登録済みのガイダンスが 2 個までしか表示されなくなる件を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　patch_rev15-guidance-001.zip

■画面側の修正

1. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥guidance.xml」を開きます。
2. 該当プロジェクト側の_Guidance フォルダ内の「_GuidanceSetup」「_GuidanceViewer」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_GuidanceSetup_bk」「_GuidanceViewer_bk」）
3. パッチファイル側の「_GuidanceSetup」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Guidance」フォルダへ貼り付けします。（「_Guidance」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
   同様の操作を「_GuidanceViewer」フォームについても行って下さい。
4. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.2.6 イベントリアルタイム

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、イベントリアルタイムの不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）のイベントリアルタイムを利用している場合
・　画面ライブラリのイベントリアルタイム（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「イベントリアルタイム」にて以下の不具合を修正
・　画面上部の履歴検索部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev15-eventrealtime-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥eventrealtime.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_EventRealtime フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
4. パッチファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_EventRealtime」フォルダへ貼り付けします。(「_EventRealtime」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.2.7 イベント履歴

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、イベント履歴の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）のイベント履歴を利用している場合
・　画面ライブラリのイベント履歴（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「イベント履歴」にて以下の不具合を修正
・　画面上部の履歴検索部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev15-eventhistory-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥eventhistory.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_EventHistory フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_Main_bk」）
4. パッチファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_EventHistory」フォルダへ貼り付けします。（「_EventHistory」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.2.8 アラーム履歴

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、アラーム履歴の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）のアラーム履歴を利用している場合
・　画面ライブラリのアラーム履歴（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「アラーム履歴」にて以下の不具合を修正
・　画面上部の履歴検索部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev15-alarmhistory-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥alarmhistory.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_AlarmHistory フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_Main_bk」）
4. パッチファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_AlarmHistory」フォルダへ貼り付けします。（「_AlarmHistory」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.2.9 アラームサマリ

不具合内容

Rev15.1 で対処可能な、アラームサマリの不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）のアラームサマリを利用している場合
・　画面ライブラリのアラームサマリ（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「アラームサマリ」にて以下の不具合を修正
・　画面上部の絞り込み検索部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev15-alarmsummary-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥alarmsummary.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_AlarmSummary フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_Main_bk」）
4. パッチファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_AlarmSummary」フォルダへ貼り付けします。（「_AlarmSummary」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.2.10信号一覧

不具合内容

Rev15.1で対処可能な、信号一覧の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）の信号一覧を利用している場合
・　画面ライブラリの信号一覧（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「信号一覧」にて以下の不具合を修正
・　画面上部の絞り込み検索部において、動作が正常でない問題を修正
・　一覧表示の検索ヘッダ部において、動作が正常でない問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev15-tagmonitor-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editorで該当プロジェクトを開きます。また、もう一つのSCADALINXpro Editorを起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥tagmonitor.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_TagMonitorフォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_Main_bk」）
4. パッチファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_TagMonitor」フォルダへ貼り付けします。（「_TagMonitor」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.2.11付箋機能

不具合内容

Rev15.1で対処可能な、付箋機能の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev12～Rev14.1）の付箋機能（LibraryVer 20200205）を利用している場合

＜不具合内容＞
「付箋機能」にて以下の不具合を修正
・　付箋リストにて、付箋の有効無効が反映されない件を修正
・　付箋リストにて、付箋の色替えが反映されない件を修正
・　付箋リストにて、設定ボタン「…」が初回押せない件を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　patch_rev15-stickynote-001.zip

■画面側の修正

1. SCADALINXpro Editorで該当プロジェクトを開きます。また、もう一つのSCADALINXpro Editorを起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥stickynote.xml」を開きます。
2. 該当プロジェクト側の_StickyNoteフォルダ内の「_StickyNoteHidden」「_StickyNoteList」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。
   （例「_StickyNoteHidden_bk」「_StickyNoteList_bk」）
3. パッチファイル側の「_StickyNoteHidden」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_StickyNote」フォルダへ貼り付けします。(「_StickyNote」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
   同様の操作を「_StickyNoteList」フォームについても行って下さい。
4. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.2.12稼働監視

不具合内容

Rev15.1で対処可能な、稼働監視の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev14.1）の稼働監視を利用している場合
・　画面ライブラリの稼働監視（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「稼働状況モニタ」にて以下の不具合を修正
・　設定登録の「表示データ」でモニタ選択時に値バインドを設定しない場合にエラーが表示される
・　設定登録の「稼働監視モニタ設定」-「デザイン」でタイトル、またはサブタイトルを非表示とし、上詰め設定としている場合、メッセージ表示の位置が正しく表示されない
・　表示データにモニタを選定してタグの値を表示する際に単位が設定できない
「稼働分析」にて以下の不具合を修正
・　現在時刻以降のデータがある場合に、現在時刻を超えてタイムラインのバーが表示される
・　基準時刻を変更している場合、基準時刻以降のデータがない場合にタイムラインのバーが表示されない
・　基準時刻で分を変更している場合、タイムラインのバーの描画範囲が時単位で表示される
・　設備詳細グラフにおいて、日の開始時刻を0時以外に設定し、当日以外の日(1日分)を選択したとき、指定した開始時刻から1日の範囲で表示されない。(0時から23時の範囲で表示される)
その他、以下の不具合を修正
・　監視対象タグのユニットがオンライン後に通信断となった場合、ガントチャートのバーが伸び続ける。
・　オンライン時に監視対象タグのユニットが通信断の場合、集計が行われない。
・　オンライン中に監視対象タグのユニットで接続、切断が繰り返された場合に、ガントチャートが正しく表示されない。

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev15-machinestatus-004.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥machinestatus.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_MachineStatus フォルダ内の「_Andon」「_Detail」「_SetupAndonInfoDialog」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。
   （例「_Andon_bk」「_Detail_bk」「_SetupAndonInfoDialog_bk」）
4. パッチファイル側の「_Andon」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_MachineSatus」フォルダへ貼り付けします。
   （「_MachineSatus」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
   同様の操作を「_Detail」「_SetupAndonInfoDialog」フォームについても行って下さい。
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。
6. 続けて、3.3.8 稼働監視の処置を実施して下さい。

■ファイルの入れ替え

1. パッチファイル内の「patch¥src¥server¥machinestatus¥script¥statuscal.txt」をプロジェクトフォルダ内の「server¥machinestatus¥script¥statuscal.txt」へ上書きコピーして下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、上書きコピー時はご注意下さい。

■サーバファイルの修正

※ 以下の作業前に Rev15.1 以降のパッチ適用が必要です。

1. SCADALINXpro Server で該当のサーバ設定ファイルを開きます。
2. 「Application-Tag-Driver」から「MachineStatus」ユニットを削除します。
   ※ お客様が、本ユニットの編集（ユニットプロパティの変更、ユニット内へフォルダ・タグの追加・削除）を行われている場合は、以降の作業の後に再設定して下さい。再設定が必要な場合は、削除ではなくユニット名の変更を行い、再設定後に削除する事をお薦めします。
3. 「Application-Tag-Driver」を右クリックし「CSV ファイルの追加読込み」で以下ファイルを読み込みます。
   パッチファイル内の「patch¥tagcsv¥MachineStatusTag.csv」
4. 読み込まれた「MachineStatus」ユニットを展開し、「MachineStatus-K001-S01（タグパス:MachineStatus.K001.S01）」タグのパラメータに「UNCERTAIN」文字列が付与されていることを確認します。
   （正常に更新された事の確認）

3.3　Rev16 で対処可能な不具合

Rev16 リリース時点で公開された標準ライブラリの不具合は下表のとおりとなります。

■標準ライブラリ		■不具合の発生したバージョン
ビデオレコーダー	（フォルダ名：_VideoRecorder）	LibraryVer 20210219
カメラ登録	（フォルダ名：_Video）	LibraryVer 20230418
デマンドレポート	（フォルダ名：_DemandSummary）	LibraryVer 20230713
日報	（フォルダ名：_Summary）	LibraryVer 20230713
散布図グラフ	（フォルダ名：_ScatterPlot）	LibraryVer 20210219
比較トレンドグラフ	（フォルダ名：_CompareTrend）	LibraryVer 20221004
トレンドグラフ	（フォルダ名：_Trend）	LibraryVer 20221004
稼働監視	（フォルダ名：_MachineStatus）	LibraryVer 20230828
エネルギー管理	（フォルダ名：_Ems）	LibraryVer 20230703

3.3.1 ビデオレコーダー

不具合内容

Rev16 で対処可能な、ビデオレコーダーの不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev15.2）のビデオレコーダーを利用している場合
・　画面ライブラリのビデオレコーダー（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜対応内容＞
「ビデオレコーダー」にて以下の対応を実施
・　クライアントがサーバーと接続されていない状態で、別の画面を表示するとラインタイムエラーが発生する件を修正
・　旧コントロール（TimeGridSeries）をガントチャートコントロールに変更

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev16-video-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥videorecorder.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_VideoRecorder フォルダ内の「_Main」「_VideoRecorderTimeChart」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします（例「_Main_bk」など）
4. パッチファイル側の_VideoRecorder フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_VideoRecorder」フォルダへ貼り付けします。(「_VideoRecorder」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
   同様の操作を「_VideoRecorderTimeChart」フォームについても行って下さい。
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.3.2 カメラ登録

不具合内容

Rev16 で対処可能な、カメラ登録の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev15～Rev15.2）のカメラ登録を利用している場合
・　画面ライブラリのカメラ登録（LibraryVer 20230418）を利用している場合

＜対応内容＞
「カメラ登録」にて以下の対応を実施
・　旧コントロール（TimeGridSeries）をガントチャートコントロールに変更

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev16-video-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥video.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_Video フォルダ内の「_VideoSelectDateTimeChart」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_VideoSelectDateTimeChart_bk」）
4. パッチファイル側の_Video フォルダ内の「_VideoSelectDateTimeChart」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Video」フォルダへ貼り付けします。（「_Video」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.3.3 デマンドレポート

不具合内容

Rev16 で対処可能な、デマンドレポートの不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev15.2）のデマンドレポートを利用している場合
・　画面ライブラリのデマンドレポート（LibraryVer 20230713 以前）を利用している場合

＜不具合内容＞
「デマンドレポート」にて以下の不具合を修正
・　画面を表示したまま日をまたいだ場合、日付のスピンボタンで本日を表示できない件を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　patch_rev16-demandsummary-001.zip

■画面側の修正

1. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥demandsummary.xml」を開きます。
2. 該当プロジェクト側の_DemandSummary フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
3. パッチファイル側の_DemandSummary フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_DemandSummary」フォルダへ貼り付けします。(「_DemandSummary」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
4. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.3.4 日報

不具合内容

Rev16 で対処可能な、日報の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev15.2）の日報を利用している場合
・　画面ライブラリの日報（LibraryVer 20230713 以前）を利用している場合

＜不具合内容＞
「日報」にて以下の不具合を修正
・　画面を表示したまま日をまたいだ場合、日付のスピンボタンで本日を表示できない件を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　patch_rev16-summary-001.zip

■画面側の修正

1. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥summary.xml」を開きます。
2. 該当プロジェクト側の_Summary フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
3. パッチファイル側の_Summary フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Summary」フォルダへ貼り付けします。(「_Summary」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
4. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.3.5 散布図グラフ

不具合内容

Rev16 で対処可能な、散布図グラフの不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev13～Rev15.2）の散布図グラフを利用している場合
・　画面ライブラリの散布図グラフ（LibraryVer 20210219）を利用している場合

＜不具合内容＞
「散布図グラフ」にて以下の不具合を修正
・　画面を表示したまま日をまたいだ場合、日付のスピンボタンで本日を表示できない件を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　patch_rev16-scatterplot-001.zip

■画面側の修正

1. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥scatterplot.xml」を開きます。
2. 該当プロジェクト側の_ScatterPlot フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
3. パッチファイル側の_ScatterPlot フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_ScatterPlot」フォルダへ貼り付けします。(「_ScatterPlot」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
4. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.3.6 比較トレンドグラフ

不具合内容

Rev16 で対処可能な、比較トレンドグラフの不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev15～Rev15.2）の比較トレンドグラフを利用している場合
・　画面ライブラリの比較トレンドグラフ（LibraryVer 20221004）を利用している場合

＜不具合内容＞
「比較トレンドグラフ」にて以下の不具合を修正
・　異なる時間軸のデータソースを同時に表示した状態で画面から CSV 出力を行った場合、時間軸と値が崩れて出力されてしまう問題を修正
・　同じ期間の指定時に表示されるデータの内容が異なる場合がある問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev16-comparetrend-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥comparetrend.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_CompareTrend フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_Main_bk」）
4. パッチファイル側の_CompareTrend フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_CompareTrend」フォルダへ貼り付けします。（「_CompareTrend」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.3.7 トレンドグラフ

不具合内容

Rev16 で対処可能な、トレンドグラフの不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev15～Rev15.2）のトレンドグラフを利用している場合
・　画面ライブラリのトレンドグラフ（LibraryVer 20221004）を利用している場合

＜不具合内容＞
「トレンドグラフ」にて以下の不具合を修正
・　異なる時間軸のデータソースを同時に表示した状態で画面から CSV 出力を行った場合、時間軸と値が崩れて出力されてしまう問題を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev16-trend-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥trend.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_Trend フォルダ内の「_Main」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」)
4. パッチファイル側の_Trend フォルダ内の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Trend」フォルダへ貼り付けします。(「_Trend」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

3.3.8 稼働監視

不具合内容

Rev16 で対処可能な、稼働監視の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
・　標準フレームワーク（Rev15～Rev15.2）の稼働監視を利用している場合
・　画面ライブラリの稼働監視（LibraryVer 20230828）を利用している場合

＜不具合内容＞
・　ステータスが変化した状態（1 以上）でサーバーをオフラインにした後、再度オンラインにした際に通信が GOOD になることなく日をまたぐと、タイムライン表示にて最終ステータスでバーが表示される件を修正
・　サーバーのオフライン時間が、5 分以内（分基準）の場合に、ステータスの集計時間にオフライン中の時間が含まれない場合がある件を修正
・　画面を表示したまま日をまたいだ場合、日付のスピンボタンで本日を表示できない件を修正
・　グループ削除時、削除後のグループが複数存在し、且つ設備が 1 つになる場合、グループ切り替えを行っても設備表示が更新されない件を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・　最新リビジョンのアップデートファイル（弊社のホームページからダウンロードして下さい）
・　patch_rev16-machinestatus-001.zip

■画面側の修正

1. SSPRO6 を最新リビジョンにアップデートします。製品パッケージを最新のリビジョンに更新する方法は、弊社のホームページを参照して下さい。
2. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥machinestatus.xml」を開きます。
3. 該当プロジェクト側の_MachineStatus フォルダ内の「_Chart」「_List」「_MonthChart」「_MonthList」「_BarGraph」「_StackGraph」「_SetupEquipment」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。（例「_Chart_bk」「_List_bk」など）
4. パッチファイル側の「_Chart」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_MachineSatus」フォルダへ貼り付けします。（「_MachineSatus」フォルダ内の一番下にコピーされます。）
   同様の操作を「_List」「_MonthChart」「_MonthList」「_BarGraph」「_StackGraph」「_SetupEquipment」フォームについても行って下さい。
5. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。

■ファイルの入れ替え

1. パッチファイル内の「patch¥src¥server¥machinestatus¥script¥statuscal.txt」をプロジェクトフォルダ内の「server¥machinestatus¥script¥statuscal.txt」へ上書きコピーして下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、上書きコピー時はご注意下さい。
2. パッチファイル内の「patch¥src¥server¥machinestatus¥summary」内のファイル全てをプロジェクトフォルダ内の「server¥machinestatus¥summary」へ上書きコピーして下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、上書きコピー時はご注意下さい。

3.3.9 エネルギー管理

不具合内容

Rev16 で対処可能な、エネルギー管理（EMS）の不具合

＜対象＞
以下のいずれかにあてはまる場合
- 標準フレームワーク（Rev15～Rev15.2）のエネルギー管理を利用している場合
- 画面ライブラリのエネルギー管理（LibraryVer 20230703）を利用している場合

＜不具合内容＞
「エネルギー管理」にて以下の不具合を修正
- 換算グラフの比較表示時に、グラフグループが複数登録されおりポイントグループに 1 件だけ登録しているグループを選択した場合、グラフの値が増加してしまう件を修正
- 表示設定で「表示内容を保存する」にチェックを選択し「自動更新」を選択した状態にて、画面を再表示すると自動更新が行われない件を修正
- 表示設定で表示設定に関する変更を行った後、「×」ボタンで閉じた場合に設定が保存される件を修正
- ポイントグループ登録で、3 つ以上のグループを作成し途中のグループを削除して目標値設定画面を表示した場合、最終グループの目標値が設定できない件を修正
- ポイントグループ登録で、グラフグループを複数登録している状態で先頭のグラフグループを削除した後に複数点比較表示の「複数点表示選択」で、ポイントグループのコンボボックスが選択できない件を修正
- 表示設定で、「換算グラフの通常表示時に発電量を減算する」を設定した後グラフグループ詳細で発電量ポイントグループの按分率を 100%未満にした場合、按分率が適用されない件を修正
- 複数点比較の表示選択ダイアログの表示上の名称を「系統」→「系列」に修正
- 複数点比較で表示されたグラフの単位が、最後のグループのものが採用される件を修正
- 画面を表示したまま日をまたいだ場合、日付のスピンボタンで本日を表示できない件を修正

この不具合に対する対処方法

■パッチファイル

・ patch_rev16-ems-001.zip

■画面側の修正

1. SCADALINXpro Editor で該当プロジェクトを開きます。また、もう一つの SCADALINXpro Editor を起動し、パッチファイル内の「patch¥src¥client¥ems.xml」を開きます。
2. 該当プロジェクト側の_Ems フォルダ内の「_Main」「_EmsDisplaySetting」「_EmsPointGrpDlg」「_EmsTargetSetting」「_EmsGraphGrpDlg」「_EmsMultiSetting」フォームをバックアップの為、別の名前にリネームします。(例「_Main_bk」「_EmsDisplaySetting_bk」など)
3. パッチファイル側の「_Main」フォームを右クリックでコピーし、該当プロジェクト側の「_Ems」フォルダへ貼り付けします。(「_Ems」フォルダ内の一番下にコピーされます。)
   同様の操作を「_EmsDisplaySetting」「_EmsPointGrpDlg」「_EmsTargetSetting」「_EmsGraphGrpDlg」「_EmsMultiSetting」フォームについても行って下さい。
4. 動作を確認し、問題がないことを確認できましたらバックアップでリネームしたフォームは削除して下さい。
   ※ お客様がソースコードをカスタマイズしている場合は、削除時はご注意下さい。